

～ 参加者の皆さんにはコロナ感染症対策にご協力をお願いします。～

「津軽と京都、御庭と御縁」

講師 … 小川 勝章氏
植治次期十二代



- * 日時 令和 3年 9月 23日（木） 午後3時から
- * 場所 瑞楽園 （弘前市大字宮舘字宮舘沢26番地2）
- * 内容 小川家の家業は江戸宝暦年間、侍より帯刀を許される作庭家となった初代に始まる。代々「小川治兵衛」の名を襲名し、屋号を「植治」と称する。今回は、次期十二代の小川勝章氏に、「京都の庭」と「津軽の庭」について講演していただきます。
- * 参加対象者 市民の方
- * 定員 20名程度
- * 参加費用 1,000円
- * 主催 （有）三浦造園（弘前市指定管理者）
- * 参加申込方法 ① 下記申込用紙に記入し管理人に提出
② 電話 0172-55-6806 （瑞楽園）
③ F A X 0172-55-6806 （瑞楽園）
④ メール paysage@iomon.ne.jp

令和3年度 指定講演会 … 指定管理者(有)三浦造園

申 込 書

令和3年9月23日（木）「津軽と京都・御庭と御縁」

参加者 氏名 _____
住所 _____
連絡先 _____

小川 勝章 (おがわ かつあき)
植治次期十二代 (うえじ じきじゅうにだい)



家業は江戸期宝暦年間、侍より庭園の道を志し、帯刀を許される作庭家となった初代に始まる。代々は「小川治兵衛 (おがわじへえ)」の名を襲名し、屋号を「植治 (うえじ)」と称する。特に七代小川治兵衛は無鄰菴や平安神宮等を作庭し、自然風景を尊ぶ作風を確立する。

小川勝章は 1973 年に生まれ、高校入学時より十一代小川治兵衛に師事する。家業に従事しつつ、立命館大学法学部を卒業し、植治における作庭に専念する。新たな作庭に加え、歴代の手掛けた庭園においても、作庭・修景・維持を続ける。また庭園を身近に感じて頂くべく、実相院門跡において、市民協働での作庭も手掛けている。

京都市 DO YOU KYOTO? 大使
立命館大学評議員
京都精華大学評議員
エフエム京都番組審議会委員
1 級造園施工管理技士
御庭植治株式会社代表取締役

■ 主な活動

- ・ 京都精華大学、名古屋工業大学、名城大学等において非常勤講師を歴任
- ・ 京都市・ケルン市姉妹都市提携 50 周年文化使節団として参加し、基調講演を行う
- ・ 2011 年～2014 年、京都新聞紙面にて「技と美の庭園 小川勝章と巡る」を連載
- ・ 六本木アートナイト 2016 等、アートイベントに参加
- ・ 2018 年 JR グループ・デスティネーションキャンペーン
第 52 回「京の冬の旅」ポスター出演
- ・ 2018 年「植治 次期十二代 小川勝章と巡る 技と美の庭 京都・滋賀」を京都新聞出版センターより刊行
- ・ その他、新聞や書籍等で、連載等を担当